

はち まる にい まる 8020



第 24号

発行：静岡県8020推進住民会議
事務局 静岡県歯科医師会
〒422-8006 静岡市駿河区曲金3-3-10
TEL (054) 283-2591
編集：8020運動推進部

推進員だより

「県民の健康長寿に向けた さらなる運動の展開を」

静岡県8020推進住民会議委員
静岡県農業協同組合中央会組織広報部長 大石 哲生



世界一の肥満大国はどこかご存知ですか。

国連食糧農業機関（FAO）がまとめた世界の食糧事情に関する統計によると、メキシコが米国を抜いて世界一の肥満国に浮上しています。成人の肥満率はメキシコが約33%、2位の米国は31・8%でした。

これまで長年の間、米国が首位の座にありました。しかし、1994年に発効した北米自由貿易協定（NAFTA）によって、米国から農産物の輸入と投資が活発になり、ファストフード店が氾濫。主食であるトウモロコシを薄く延ばして焼いたもの（の消費は、この20年で3割減、野菜の

消費も3割減りました。伝統的な食生活は手軽な加工食品に取って代わられました。甘味料入り炭酸飲料の消費が4割も増え、1人当たりの消費量は世界一になっています。

このことは、我々にとつて遠い国の話ではありません。かつての長寿県沖繩は、今ではすっかり下位（特に男性）になってしまっています。これも沖繩の伝統的な食生活が薄れ、アメリカの影響を受けた食の変化が原因の大きな部分を占めるとも言われています。

「自分の健康は自分で守る」このこと自体は変わるものではありませんが、国民の健康は食を取り巻く環境によって大きく影響を受けます。今こそ、食と健康を考え、見直す運動が必要だと思えます。

JAグループでは、「みんなのよい食プロジェクト」キャンペーンを展開しています。これは、「日本人に

とつての『よい食』を、みんなで見直そう」というもの。JAグループがすすめる、心と体を支える食の大切さ、国産・地元農畜産物の豊かさ、それを生み出す農業の価値を伝え、国産・地元産農畜産物と日本の農業のファンになっていただくという運動です。よい食とは、おいしい食のこと。よい食とは、楽しい食のこと。よい食とは、家族の健康を支えるもの、よい食とは、よい暮らしそのもの。

静岡県8020推進住民会議でも、歯科医療の問題にとどまらず、県民の健康長寿に向けて、どんな食べ物を選び、どのように食べるかということも含めて真剣に議論されています。グローバル化が進み、メキシコのようにならないとも限りません。

「よい食」が文化として定着するよう取り組まなければならぬと考えています。



「平成25年度 8020推進・静岡県大会 in 静岡」開催

テーマ「食べる力は 幸せ力 ～ふじのくから 広げよう 8020～」

日時：平成26年2月15日(土) 13:00～16:00
会場：グランシップ「交流ホール」(JR東静岡駅隣接)



- 〈大会概要〉
- ・8020関係表彰(8020県民表彰・8020童話賞他)
 - ・8020推進活動報告
 - ・講演 栃木県立衛生福祉大学校 青木 旬 先生
「歯を大切にすると、元気、長生き、そして…」
 - ・講演 日本大学歯学部歯科保存学第Ⅲ講座 准教授 菅野直之 先生
「お口の病気と全身の健康」
 - ・パネルディスカッション with 参加者



● **わがまち静岡**

静岡市は、3,000mを超える高峰が連なる南アルプスから日本最深の駿河湾に至る多彩多様な自然を有し、富士山の世界文化遺産登録のなかで構成資産となった三保の松原のほか、日本平、薩埵峠など、数多くの名勝を有しています。また、市街地には多くの商業施設が立地し、県庁所在地として、政治、経済の中心地として発展してきました。平成17年には、「活発に交流し価値を創り合う自立都市」を「目指すまちの

姿」として、その実現につとめています。

◎ **みどころ**

久能山東照宮、静岡浅間神社、日本平動物園、静岡ホビースクエア、大道芸ワールドカップ、清水七夕まつり、清水エスパルスなど

● **わがまち焼津**

「焼津」の地名は、古事記や日本書紀に登場し、日本武尊が東征の途中、天叢雲剣で草をなぎ倒し火をかけて賊を滅ぼした地名に由来しています。東に駿河湾、西は大井川を臨む人口約14万4千人のまちです。焼津港、小川港、大井川港の3つの港があり、カツオやマグロは全国屈指の水揚げを誇ります。宿泊客の気は「黒潮温泉」。国の重要無形民俗文化財「藤守の田遊び」や、勇壮な神輿渡御が東海一と称される焼津神社



の大祭「荒祭」など、観光資源にも恵まれています。

◎ **みどころ**

花沢の里、焼津神社、焼津さかなセンター、小泉八雲記念館、デイスカバリーパーク焼津、マラソンコース「リパティ」など

● **わがまち藤枝**

藤枝市は南北に長く、北部は赤石山系の南端に接し、豊かな緑に恵まれています。南部には肥沃な志太平野が広がり、市街地が形成されています。そして、山間部から市街地を貫くように瀬戸川が流れています。東海道の宿場町として発展してきた岡部町と平成20年度に合併しました。

◎ **みどころ**

平成24年7月に静岡県中西部で初めて歯科条例を制定し、今年度は小学生対象の歯科講座を各学校で開催するなど、歯や口の健康づくりに積極的に取り組んでいます。

◎ **みどころ**

蓮華寺池公園、玉露の里、滝の谷不動峡、史跡田中城下屋敷、大旅籠 柏屋など

● **わがまち島田**

島田市は、一級河川大井

川の中・下流域に位置し、北部は山地が多く、南部は大井川によって形成された扇状地及び牧之原台地からなる豊かな自然環境に恵まれた人口約10万人の中核都市です。江戸時代には東海道の宿場町として栄え、大井川に掛けられた蓬萊橋は木造歩道橋として世界最長を誇りギネスブックに登録されています。

◎ **みどころ**

また富士山静岡空港や新東名高速道路島田金谷インターチェンジなど交通網が充実しています。まちの将来像として「人と産業・文化の交流拠点 水と緑の健康都市 島田」を目指しています。

◎ **みどころ**

蓬萊橋、ばらの丘公園、伊太和里の湯、SL、石畳、川根温泉ふれあいの泉など

● **わがまち牧之原**

牧之原市は、海岸部に白砂の美しい人気の海水浴場があります。平成21年には、静岡の空の玄関口として富士山静岡空港が開港しました。また山野部には、日本有数の大茶園牧之原台地を



©静岡県

有します。この美しい自然に抱かれた郷土を守り、次世代が安心して暮らせる世界を築く為、「核兵器のない世界を目指す平和都市」を宣言します。

◎ **みどころ**

富士山静岡空港、静波海水浴場、さがらサンビーチ、大鐘家、グリーンピア牧之原など

● **わがまち吉田**

吉田町は、大井川河口の西側に広がる、人口約3万人の町です。大井川からの豊富な水資源を利用して、農業・工業が栄えてきました。しらすのとれる吉田漁港もあり、近くにはしらす加工場も点在しています。また、しずおか緑花祭の会場となった県営吉田公園や一面に広がる吉田たんぼがあり、四季にあわせた色とりどりの花や作物をみることで、水と緑と花の町が「吉田町」です。

◎ **みどころ**

展望台小山城・吉田公

園・吉田たんぼ・吉田漁港・能満寺のソテツ・林泉寺の長藤 など

● **わがまち川根本町**

川根本町は、大井川の中・上流域に位置する人口約8,000人の自然豊かな町です。北部は雄大な南アルプス国立公園の玄関口である山々や渓谷などの美しい自然があり、大井川の朝霧が育む「川根茶」の郷でもあります。

◎ **みどころ**

南アルプスについては、ユネスコエコパークへの登録を目指し、世界農業遺産に認定された「静岡の茶草場」のひとつである本町の茶葉は、更なる良質なお茶の提供をするために取り組んでいます。

◎ **みどころ**

このような豊かな水と森、お茶と温泉に彩られた、だけれど安心して暮らせるふるさとを掲げ、その実現に向けたまちづくりを進めています。

◎ **みどころ**

南アルプスの自然（紅葉・新緑など）、SLとアプト式鉄道、寸又峡温泉、接叺峡温泉、もりのいずみ、音戯の郷、茶茗館 など